



森の守護神

森ボラ 通信

第197号 2018年10月20日発行

NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <http://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8・ラルズ生活研修センター

TEL (fax): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

トピックス

◆『CGC 烏柵舞の森』育樹祭開催

10月6日に公益財団法人オイスカ北海道支部の主催、札幌ユネスコ協会の合同主催、北海道CGCみどりところ基金などの協力で、2018年度の育樹祭が千歳市5334林班『CGC 烏柵舞の森』で開催されました。当日は台風の影響もなく穏やかな天候に恵まれ、オイスカ関係者34名、ユネスコ関係者14名、森ボラ会員15名の総勢63名の参加で、昨年に引き続きシラカンバ除伐と今年で最後になるアカエゾマツ苗木の植栽などを行いました。

シラカンバ除伐は駐車場向かい側の7区の2列をそれぞれの参加者が分担して担当し、あらかじめ付けられたピンクテープ以外のシラカンバを除伐しました。これは乱立しているシラカンバを除伐して残った木々の生長を促し、より多様性のある森に誘導するためです。

その後参加した中高生、大学生による樹高1.5m程のアカエゾマツ苗木21本を植栽しました。森ボラ会員の協力によりあらかじめ掘られた植穴に黒土、ピートモスを混合して根巻き苗を植え、風により倒れないように竹支柱を添えました。若人による植栽体験が記憶され、数十年後にこの地を訪れて成長を確認して欲しいと思います。



シラカンバの除伐作業

志により昨年除伐した箇所を訪れて木々の生長の変化を実感し、除伐の成果を確認しました。

今回で烏柵舞での育樹祭は終わりとなりましたが、このような機会を通して一般市民、生徒、学生を交えて森林に親しみ、植樹、育林の意義を伝える必要があります。今後も植樹祭、育樹祭活動が継続されることを望みます。(文・榎棒、写真・大窪)



参加者集合写真

その後には当会の酒井代表による恒例の森林教室が開かれ、シラカンバは皮目を持ち幹でも光合成している話などをして活発な質問があり、楽しい時間が過ぎました。その間有



世代を超えて仲良く植樹

活動報告

◆道民森づくりの集い

今年も9月30日道民森づくりの集いが開拓の村森のテント村エリアで開催されました。道庁の広場から開拓の村に移って3年目になります。“木とふれあい森を楽しもう”のキャッチフレーズの通り森に関係のある28の団体(昨年とほぼ同数)が参加しました。

森林管理局代表の挨拶の後 10:00 から開始され、当協会も例年通りのこぎり体験、コースター作り、リース作り、パンフ配布、化粧炭配布、ペン立て他（杉本作）、「どんぐりソロバン」を出展しました。

今年は天候が不順の為か例年より少なく思えました。後の事務局発表で半分（約 1,000 人）だったそうです。

のこぎり体験は、立ち止まって興味深そうに見ている協会員が声をかけると体験したい子が次々見え、丸太を輪切りし、サンダーかけ、バーニングペンで仕上げてコースターの完成。

リース作りもかなり盛況で体験が進み 11:30 頃には材料がなくなり終了。パンフ（協会紹介、土日ボランティア、親子森林教室）の配布も順調（強引に配布も？）

ペン立て他と化粧炭も持参した品はほぼ捌けたかな？

どんぐりソロバンも手に取って興味を示していました。

後半になり日ハムの B・B が、のこぎり体験にみえ顔が見えないので楽しまれているのかわからないが態度から楽しんでいたと思います。

今回、小型発電機を持ち込み容量オーバーでよく落ちましたが矢野さんの絶妙な電動サンダーかけで持ちこたえました。

午後からは入園者も減り材料も無くなり手持ち無沙汰でしたが全体的に上手くいったと思います。参加して下さった協会員の皆さんお疲れ様でした。又、来年度に向けて出展内容の案があればご意見聞かせてください。（文・大窪）



◆2018 年度研修旅行報告

『知床の自然から学ぼう！』・2018 年 9 月 17～20 日

1. 北見市「オホーツクの森」

「オホーツクの森」は北見市と網走市にまたがる面積約 4,000ha の天然林を利用した自然公園である。公園内の一角にある森が整備され「古の森」として開放された。「古の森」の最大の特徴は北海道内の樹木の 9 割が見られることと、ハルニレの「林木遺伝資源保存林」として保護されてきたエリアであったことから推定樹齢 250～400 年ほどの樹木が数多く自立している。「倒木更新」の初期の状況と 200 年後の姿に近い場所で確認できることである。休日にもかかわらず早く現地を案内、説明していただいた「常呂川森林ふれあいセンター」の南所長、近藤さんに感謝します。ありがとうございました。



高木植栽の現地

2. 斜里町「知床自然センター」

知床 100 平方メートル運動は、1977 年「知床で夢を買いませんか」の運動で土地が確保され、1997 年からはじまった「知床で夢を育てませんか」の運動では確保した運動地を原生林に戻すという仕事を進め現在もまだまだ続いている。

運動の森づくりは「不変の原則」に基づき 900ha 運動地全体を五つの区画に分け、5 年で一巡する回帰作業方式を取り入れている。この回帰作業が四巡した 20 年ごとに中期目標の確認を行い、さらに 100～200 年後の長期目標の達成を目指している。

本格的な森づくりのスタート時点から大きな壁となったのはエゾシカである。シカは 1980 年代から知床半島の



「オホーツクの森」説明を受ける

広い範囲で増加し、1990年代後半には多くの広葉樹が枝葉や樹皮をシカに食べられ枯れていく状況となり、シカの食害を防ぐために「防鹿柵」の設置が急務となった。最初は有刺鉄線で柵を囲んだが直ぐにシカに侵入され、試行錯誤の結果、牧畜の金網フェンスや木板で囲うようになった。面積にすると約860haの運動地の僅か16haでしかない。防鹿柵の中に苗畑や苗木の植え込みが行われた。



シカ柵(H=4m)の設

運動地の約2割にあたる200haは単一の種類の木が直線あるいは密集して植栽されていて、その林床は薄暗く他の植物が生長しづらい環境となっている。今後はこのような環境を改変して他の木々が生長できる環境を作るべく、手始めにアカエゾマツ造林地の一部を伐採してできたギャップに自然に種が飛んできたり、広葉樹の苗を植えて徐々に多様性の高い森が形成されることを目指している。

国策で疵付けられた森を人の手で原生的な森に復元(?)する作業が、続けられている。最後にエゾシカ、ヒグマの母子を垣間見ることが出来た。案内や我々の拙い質問に丁寧に答えていただいた「知床自然センター」の草野さんにお礼を申し上げます。



防風柵の前で集合写真

3. 釧路市「釧路湿原」

広漠としたヨシ・スゲ原を観ると、アフリカのサバンナを連想させられる景観である。

・湿原の特異な景観「ヤチボウズ」

湿原の所々に「ヤチボウズ」と呼ばれるスゲ類の叢株が密集団を作っている。スゲ類の仲間が密生して、高さ40~50cm程の大きな株をつくる。これらのスゲ類は分けつ作用が非常に旺盛で、前年の根から地下茎を伸ばし、翌年の根を繁茂させて毎年連続して生長する。スゲ類の旺盛な分けつ作用、土壤凍結による隆起、流水による株根元の土壌流亡、こんな条件が重なって「ヤチボウズ」が作られる。*

「釧路湿原」釧路新書より
(文・小笠原、写真・三橋、前地他)

◆会員向けお知らせが2つあります



1. 普通応急手当講習 I を開催

今年度最初の冬季セミナーは、札幌市防災協会の講師による「普通応急手当講習 I」です。参加の方は11月の作業参加申込書により申し込んでください。締め切りは11月5日です。多数の参加をお待ちしています。(参加費:無料)

・開催日時:2018年12月12日(水) 13:15~16:30

・場 所:札幌エルプラザ 2階 環境研修室 1,2

2. 2018年・忘年会参加申込受付

2018年の忘年会は下記の要領で行われます。参加希望の方は11月の作業参加申込書にて申し込んで下さい。(締め切りは11月5日)

- ・場 所:白老町虎杖浜温泉 ・ ホテル いずみ
- ・日 時:2018年12月4日(火)-5日(水) / 1泊2日
- ・集合場所:13:30 ・札幌駅北口広場・愛の鐘(時間厳守)
- ・会 費:10,000円(幹事:加藤、柿沼)

■今月の幹事会

出席者：大窪・荻田、樫棒・加藤・清澤・酒井・佐野・高野・釣井・矢澤

1. 2018年11月、12月スケジュール・・・幹事会11月9日（金）理事会議案書擦り合わせ
2. 親子森林教室
 - ・10月14日親子森林教室のスケジュール
3. 2018年度森林・山林多面的發揮機能対策計画
 - ・林野庁現地調査10/19：酒井、市山、樫棒対応
4. 研修旅行報
5. 道民森づくりフェスタ（9/30）報告
6. 「森林遊びサポートセンター」支援について・・・（調査検討を継続）
7. 忘年会準備・・・加藤（白老町虎杖浜温泉、12月4,5日）
8. チカホ展示・体験(12/7)準備・・・（コースター作り体験、協会紹介パンフ配布）
9. 冬季セミナー
 - ・12/12:普通応急手当講習会I(札幌市防災協会)13:30～16:30、札幌エルプラザ2階
 - ・1月会員例会:伐木安全講習(1/9実技、1/16机上)・・・酒井(矢澤、矢野)
10. 現場対応他
 - ・10/18:澄川清掃活動、澄川南小6年記念樹植栽
 - ・10/22:澄川南小3年樹名板設置
 - ・10/27:土日ボランティア、かんぼ生命参加予定
 - ・10/30:チェンソー講習会(多面事務局主催)
11. その他
 - ・2018年9月会計報告

■活動履歴

月日	行事・活動地	参加数	活動内容
9月12日(水)	有明	7	台風・地震被害状況調査及び倒木等処理
9月14日(金)	澄川	18	ニセアカシア萌芽処理
9月15日(土)	澄川	3	ドングリソそろばんの為のドングリ拾い
9月17～20日	知床（研修旅行）	18	オホーツクの森・知床自然センター・釧路湿原
9月23日(日)	澄川	14	澄南小樹名板作成・チップ作業(E-4)
9月25日(火)	澄川	12	チップ作業・マキ作り
9月27・28日	CGC 烏柵舞の森	18/18	台風被害の後始末(看板仮設置)・育樹祭準備
9月30日(日)	道民森づくりの集い	14	手鋸体験・コースター作り・リース教室
10月3・4日	CGC 烏柵舞の森	15/15	育樹祭準備作業・オイスカ・ユネスコ育樹祭
10月9日(火)	澄川	12	D-7、E-4地拵え・樹名板用杭作成
10月11日(木)	ラルズ生活研究C	10	幹事会
10月12日(金)	有明	5	倒木処理・補植必要数確認